

エドワード・G・ロビンソン

Edward G. Robinson

生年月日 1893/12/12

出身地 ルーマニア／ブカレスト

没年 1973/01/06

関連人物 エドワード・G・ロビンソン・Jr（息子）

【バイオグラフィ】

■本名はEmmanuel Goldenberg。10歳のときにNYに渡る。最初は弁護士かユダヤ教の牧師になるつもりだったがカレッジ在学中に演劇にハマリ、奨学金を得てアメリカ芸術アカデミーに学ぶ。13年に舞台デビューし、2年後にはブロードウェイに進出。約15年に渡って精力的に舞台活動を続けていく。23年「ブライト・ショール」で映画デビュー。「犯罪王リコ」以降はワーナーのギャング映画には欠かせない存在となって活躍。44年の「深夜の告白」での熱演も印象に残るが、やはり代表作として覚えておきたいのは48年の「キー・ラーゴ」であろう。その後絶頂期を迎えるはずだったが、第二次大戦中からの反ナチ活動を共産主義者と疑われ、いわゆる“赤狩り”の公聴会に呼ばれたり、世界的な絵画コレクターだったが離婚の慰謝料を捻出するために数多くの絵画を売却せざるを得なくなったりと、公私共に不遇の時期が続いてしまった。映画復帰した54年以降は次第に脇役にまわるようになったが、「十戒」や「逆転」、そして65年の「シンシナティ・キッド」など、強い印象を残して映画ファンに愛され続けた。72年にはこれまでの功績を称えてアカデミー名誉賞を受賞。病床で受賞を聞いた時は感激のあまり、号泣したという。翌年、ガンのためこの世を去った。息子、エドワード・G・ロビンソン・Jrも俳優になった。

【フィルモグラフィ】

ソイレント・グリーン (1973)	出演：ソル・ロス
ソング・オブ・ノルウェー (1970)	出演
盗みのプロ部隊 (1969)	出演：ジェームズ・アンダース教授
マッケンナの黄金 (1969)	出演：老アダムス
怪盗大旋風 (1968)	出演：レオ・ジョセフ・スムーズ
大泥棒 (1968)	出演
ブロンドの罠 (1967)	出演
奇想天外・泥棒大作戦 (1967)	出演
シンシナティ・キッド (1965)	出演：ランシー・ハワード
シャイアン (1964)	出演：カール・シュルツ
ちょっとご主人貸して (1964)	出演
暴行 (1963)	出演：ペテン師
七人の愚連隊 (1963)	出演：ビッグジム・スティーヴンス
サミー南へ行く (1963)	出演
逆転 (1963)	出演
明日になれば他人 (1962)	出演
青い目の蝶々さん (1961)	出演：サム・ルイス
賭場荒し (1959)	出演
波も涙も暖かい (1959)	出演：マリオ・マネッタ
十戒 (1956)	出演：デーサン

悪夢の殺人者 (1956)	出演
法に叛く男 (1955)	出演
暗黒の叫び (1955)	出演
地獄の埠頭 (1955)	出演
消された証人 (1955)	出演
死刑五分前 (1954)	出演
欲望の谷 (1954)	出演
目撃者は語らず (1954)	出演
銀行強盗 (1953)	出演 :バーナビー
他人の家 (1949)	出演
キー・ラーゴ (1948)	出演 :ジョニー・ロッコ
夜は千の眼を持つ (1947)	出演
赤い家 (1946)	出演 :ピート・モーガン
オーソン・ウェルズ I N ストレンジャー (1946)	出演
緑のそよ風 (1945)	出演
緋色の街 / スカーレット・ストリート (1945)	出演
深夜の告白 (1944)	出演 :バートン・キーズ
飾窓の女 (1944)	出演
肉体と幻想 (1943)	出演
駆逐艦ジョーンズ (1943)	出演
運命の饗宴 (1942)	出演
詐欺請負会社 (1942)	出演 :プレッシャー・マックスウェル
大雷雨 (1941)	出演 :ハンク・マクヘンリー
海の狼 (1941)	出演
偉人エーリッヒ博士 (1940)	出演
顔役 (1940)	出演
ロイター特派員 (1940)	出演
戦慄のスパイ網 (1939)	出演
暗黒王マルコ (1938)	出演
犯罪博士 (1938)	出演
倒れるまで (1937)	出演
最後のギャング (1937)	出演
弾丸か投票か! (1936)	出演
バーバリー・コースト (1935)	出演
俺は善人だ (1935)	出演
笑心巨人 (1933)	出演
虎鮫 (1932)	出演
二秒間 (1932)	出演
天晴れウォング (1932)	出演
特輯社会面 (1931)	出演
夜の大統領 (1931)	出演
法の外 (1930)	出演
犯罪王リコ (1930)	出演

壁の穴 (1929)

出演

ブライト・ショール (1923)

出演